

慶應義塾大学出版会

イチ押し

2024 年 8 月 新刊のご案内

西洋史

ウィーン 1938 年 最後の日々

ア ン シ ュ ル ス
オーストリア併合と芸術都市の抵抗

高橋義彦 (北海学園大学法学部准教授) [著]

四六判上製 / 288 頁 税込予価 2,970 円 ISBN978-4-7664-2972-5 C0022

👉 ココに注目!

- ・ナチス・ドイツによる侵攻により、ウィーンの芸術文化はどのようにして崩壊していったのか。
- ・フロイト、カネッティ、ウィトゲンシュタインといった文化人による抵抗や亡命を軸に、当時の状況を描く。

1938 年に起こったナチス・ドイツによるオーストリアの併合。この未曾有の事件に直面した当時のオーストリア／芸術都市ウィーンの文化状況が崩壊していく様子を、歴史的背景とともにたどりなおす。当日のオーストリア首相のシュシュニクとヒトラーとのやり取りを縦軸として、当時の緊迫したウィーンの文化的状況を、フロイトやカネッティ、ウィトゲンシュタインといったユダヤ系文化人の回想録や新聞記事などをもとにノンフィクション的に描いていく。

対象 ヨーロッパ現代史や文化史に関心のある一般読者

類書 野村真理『ウィーン ユダヤ人が消えた街』(岩波書店)

【営業部からのおすすめポイント】

いわゆる「世紀末ウィーン」を代表する作家アルトゥア・シュニッツラーの作品に戯曲『輪舞』があります。はじめは娼婦と兵卒、次はその兵卒と女中、次はその女中と若旦那…というふうに、登場相手が順繰りに入れ替わってゆき、最後に伯爵と最初に出てきた娼婦との組み合わせになって『輪舞』が完成するという構成の戯曲です。本書ではこの構成に着想を得ており、1938 年のナチス・ドイツによる侵攻を、フロイト、カネッティ、ウィトゲンシュタインといった文化人がどのように受け止めたかを、彼らの人間関係の「輪舞」をもとに論じるというものとなっています。そこから、彼らの友情・恋愛・敵対・師弟・家族といった知られざる関係性がどんな形であらわれていくのかが本書の見どころのひとつ。西洋史が好きな読者にぜひ届けたい一冊です。 (福本)

👉 主要目次、注文書、著者既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序章 一九三八年の「輪舞」

※シュニツラーの小説『輪舞』に例えて、30年代の芸術都市ウィーンの人脈とハプスブルク帝国崩壊以降のオーストリアをめぐる歴史的背景を紹介する。

第一章 オーストリア併合への道

ハプスブルク帝国崩壊からシュシュニク政権へ／ヒトラーの別荘ベルヒテスガーデンの会談／

シュシュニクの抵抗

※ヒトラーの山荘での切迫した首脳会談のやりとりと、その具体的な要求の内容がつづられる。

第二章 併合前夜の芸術と政治

指揮者ブルーノ・ワルターとオペラ『ダリボル』／作家ヴェルフェル夫妻の愛憎／

カネッティ夫妻の精神不安

第三章 オーストリアの一番長い日

※首相シュシュニクの愛国演説～3月13日に行おうとしたオーストリア独立維持への賛否を問う国民投票は、ドイツの圧力で中止に追い込まれる。その後のナチス・ドイツによる武力侵攻とその過程の緊迫した一日を描く。

第四章 ヒトラーのウィーン

挫折の街／勝利の街／暗黒の街

※17歳で故郷オーストリアの小さな村から芸術家をめざして移り住んだウィーンで音楽三昧の日々を送る若き日のヒトラーが、なぜオーストリア合併にこだわるようになったかを描く。

第五章 ヒトラー支配下の文化生活

フロイト一家の脱出／ウィトゲンシュタイン家の姉弟喧嘩／ヴェルフェル夫妻のピレネー越え

※危機的状況下でも、街ではいつもと変わらない文化生活が送られていた。政変に直面して危機感を抱いたユダヤ系芸術家たちは、どのようにして自らを守ろうとしたのかを、緊迫感を伝えつつ描く。

終章 それぞれの一九四五年

※戦後までを生き抜いた芸術家・政治家たちのその後を描く。



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			高橋義彦 著 ウィーン 1938 年 最後の日々 ーオーストリア併合と芸術都市の抵抗 I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 9 7 2 - 5 C 0 0 2 2	2,970 円	★★★★★

★1つで「500部」を表します

著者既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	高橋義彦 著 カール・クラウスと危機のオーストリア ー世紀末・世界大戦・ファシズム I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 3 3 1 - 0 C 3 0 2 2	定価(税込)
			発行所：慶應義塾大学出版会	3,960 円